

☆ 子ども会 (学習会) だより ☆

MY SKY 第8号

マイ スカイ

1996年6月7日金曜日発行(毎週火曜日定期発行)

発行者

板野中学校

学習会

編集・文責: 吉成正士

あつ 暑い。お昼なんか、もうまるで夏ですね。この調子で夏本番に突 ちようし 入ると、とんでもないことになりそうです。さぞかし勉強する教室も暑いと思いますが、とりあえず気持ちは ひ し 引き締めて、がんばりましょう！

まずは初々しい 1 年生の全体学習についてです！！



◎1年D組「だからわるい」(5月30日:1年第1回全体学習)

1 年生って本当に初々しいですね。当の 1 年生のみなさんにしてみれば「なんのこっちゃあ？」って感じでしょうが、何年にもわたり何回も全体学習を見てきた私にとって、やっぱり 1 年生の第 1 回めの全体学習は新鮮でした。

それにしても 1 年生のみなさん、よくがんばっていましたね。とりわけ D 組のみなさん、よくがんばってくれました。初めはなかなかスムーズにいかないようでしたが、それでもしっかりと発言しようとしてましたね。特に「先生！ケンカって、どこからがいじめなん え？」と、ぶつけてくれた男の子なんて、素晴らしかったですね。その後も、この発言に 応えようとしてた子が何人もいましたが、素晴らしいですね。このとき「アッ！これこそ が授業なんだ！」と再認識しました。

そもそもこの授業なんていうものは、みんなで作りあげていくもので、誰かが司会したりとか、仕切ったりするものじゃあないですよ。発言している人の内容をじっくり聞き、それについて応えていく。その繰り返しなんですよね。だから、先生の言葉を挟まなくても、生徒のみなさんでどんどん話し合いを進めることができる。あの場面は、まさにそういう雰囲気でした。すごく基本的なことなのですが、私はあの一瞬にそのことが再認識できました。本当にありがとうございました。

さて、6 時間めはこれまた活発に発言が相次ぎましたね。「あなたは 4 つのうちのどの立場になったことがあり、その時どう思いましたか？」という質問から始まったと思いま

すが、結構^{けっこう}みんないろんな立場になったことがあるんですね。そしてその中で、「犬の立場になったことがあったけど、空^{むな}しくなっていた」とか、「私は今、男の子から女の人になろうとしているところ」と言ってくれた子が結構たくさんいました。といっても、この資料「だからわるい」の内容をご存^{ぞん}じない方々にはよくわかりませんよね。

内容は……あるとき、犬が子猫^{こねこ}を威嚇^{いかく}していました。それを見て、男の子二人組が笑っています。そこに通りかかった女の人が、男の子たちを注意します。……といった内容の資料です。

話をもとに戻^{もど}しますが、先の二つの発言は、本当に正^{ただ}直^しな気持ちだと思います。ところが、いざとなるとそんな気持ちもどこかへ飛んで行ってしまい、同じことを繰り返してしまふ人も多いと思います。よほど強い人なら自分で自分を変えていけるのかもしれませんが、なかなかそういうわけにはいきません。だからこそ、人を通して、常に自分自身^{おのれ}を振り返ることが大切なんではないでしょうか。長い人生、その繰り返しのようになります。その道のりは、生きている限り続く、果^はてしない道のりだと思います。でもそれは、人間としての本当の生き方を求めていく、誇^{ほこ}りある生き方だと思います。そんな生き方を、いついつまでも貫^{つらぬ}けるよう、「今」という時を、ともに大切にしていきたいと思います。

1年生から、全体学習の感想がいくつかよせられました。そのうちの二つを載せておきます。なかなか鋭^{するど}く奥深^{おくふか}い内容なので、読んでみてください。

僕はそんなに発表しない方だけど、あんなに静^{しず}かだと発表したくなります。でも、いざするとすると、なかなかです。

それはおいといて、犬は自分が弱いから、小さい猫^{ねこ}をいじめるんだと思います。犬も犬たちのボスにやられてむしゃくしゃしてやったと思います。でもやられたらやると、結局^{けっきよく}一番下のやつは誰にもそんなことができないから、どうしようもありません。自分もそんな経験があるから、そんなことを考えたことがあります。 1年男子

※

今日発表できて良かったと思う。でも私は、犬、猫、男の子、女の人、どの立場にも立ったけど、全部悲しいと思う。差別やいじめを「するもの」「されるもの」「見て見ぬ振り^{おのれ}をするもの」「注意するもの」。「するもの」がいなければ「注意するもの」もいらなくなるし、それに「注意するもの」が反対に「されるもの」になる時もある。差別、いじめ、あつてはいけないものに「見て見ぬ振り」。これもいけないと思う。

でも、部落差別はもともとなかった。これは人間がつくったものなのだから、消すことができると思う。いえ、できる。^{りそう}理想があれば、変えられると思う。

4つの立場も、消えないかもしれない。だからこそ、みんなが「注意するもの」になって、4つの立場があるんでなく、一つになって、立場^{じたい}自体をなくなさなければならぬと思う。誰かがやらないと変わらない。誰かが始めて、みんなそれに続かないといけぬと思う。キレイごとを並べても、変わらないと思う。私は変わりたい。

「^{びやうどう}平等」という理想を^{げんじつ}現実^{げんじつ}にしたい。

1年女子

もう一つ気づいた、当たり前だけど素晴らしいことを、最後に^{しょうかい}紹介しておきます。

何が素晴らしいって、聞く姿勢^{しせい}が素晴らしかった！どうしても発表している子ばかりが注目^{ちゅうもく}されてしまいますが、それだけじゃないと思いました。みんなが波打つように顔、体の向きを変え、一生懸命^{いっしょうけんめい}聞いている。これは、素晴らしかったです。あまりにも基本的^{きほんてき}すぎて見落^{みおと}としてしまいそうですが、本当に大切にしていきたいことですね。

この1回目の全体学習の素晴らしさが、最後で瀬川先生の言ったように校内部落問題意見発表会^{いへんえい}に反映されると、なおいっそう学年の絆^{きずな}が深まると思います。がんばりましょう！



◎^{しん や え い こ}新屋英子・^{しば い}ひとり芝居「^{でんせつ}ヒミコ伝説」(11月24日予定：板野中学校人権集会)

今年の11月24日(日)、板野中学校体育館にて人権集会^{けいかく}が開かれる計画が進められています。どういう形式になるかまだ詳しくは決まっていますが、午前の時間を使って、参観授業形式^{けいしき}の人権集会になると思います。しかも保護者だけの参加ではなく、卒業生^{そつぎやうせい}や町内外^{ちやうないがい}の方々^{ふく}を含め、たくさんの方々と学習できるように考えているようです。

実はその集会のはじめに、タイトルにあるひとり芝居「ヒミコ伝説」(約90分)を観て、その後討論会^{とうろんかい}を開く計画があります。

^{しん や え い こ}新屋英子さんという役者^{やくしや}さんが、一人でお芝居をするのですが、そのお芝居を、今年の3月に兵庫県明石市で私は観てきました。その時、私は大変な感動^{おほ}を覚えました。主人公^{しゅじんこう}ヒミコの、なんとといういきいきした姿^{すがた}！どんな境遇^{きやうぐう}にも屈せず、したたかに生き抜くたくましさ！いわれなき横暴^{おうぼう}な圧力^{あつりよく}に敢然^{かんぜん}と立ち向かう力強さ！そして、自然に人をいたわることのできる優しさ^{やさ}！ぜひともみなさんにも観てもらいたいと、心の底^{そこ}から思いました。

とりあえず話のあらすじとプロフィールを次に載せておきます。読んでみてください。

あらすじ

女手ひとつで息子むすこを育て、今は公園こうえんの掃除婦そうじふをしているヒミコ。公園のベンチで、時代いを行きつ戻りつもどしながら彼女が自らの半生はんせいを語る。

大の仲良しだったトシエちゃんは被差別部落の子。小学校の先生に突き飛ばされたきり学校へ来なくなった。70年近くも前のことだが、今でもトシエちゃんの顔を思い出す。

ヒミコの家も生活は苦しかった。父親ふくまつの福松は、勤めていた金物問屋かなものどんやで盗みのヌレギヌをきせられて、クビになり寝ついてしまう。ヒミコは、母親ははイネと屋台やたいをひいてワラビ餅もちを売り歩く。

“めし屋”で働いていた13歳の頃、関東大震災かんとうだいしんさいがあり大勢の朝鮮人おおぜい ちょうせんじんが虐殺ぎやくさつされる。その話を聞いた福松は「ムゴイ……」と、泣き続ける。

少女歌劇団かぎきだんの合格通知電報ごうかくつうし ちでんぽうを福松に見せると、「肌身はだみはなさず持っている」とお守りをヒミコの手てに握にぎらせる。その2日目に福松は血ちを吐はいて死んでしまう。

座付き作者ざつき ざうしやとの結婚けっこん、証券会社員しょうけん しょうかいぎんと2度目の結婚。最初の亭主ていしゆには逃げられ、2度目の亭主は追い出してしまう。イネと息子アキラ、そしてヒミコの3人が生きるため、カフェじやうやの女給じやうきゅうや飲み屋なかいの仲居をはじめ、ありとあらゆる商売で口くちを糊する。その間に、2・26事件ろこうきやう じけん、盧溝橋事件だいがう あせんそう、大東亜戦争げんぱくとう か、原爆投下さまたまなど様々な歴史をおりこみ、ヒミコの生きた時代うを浮かび上がらせる。

そして時はいま、ヒミコはインテリいんてりの嫁よめとうまくいかない。あるとき、福松が死しに際ぎわにくれたお守りまもを嫁がみつけた！そこには、ドジョウがのたうちまわったような字が？！……………。

女おんなの目から見たら、まだまだ男性優位だんせいゆういの日本社会。夫おつとのエゴや社会の変動へんどうにもて遊ばれて小舟こぶねのようにゆれるヒミコ。学もなく字も読めないヒミコに世間の荒波せけん あらなみは容赦ゆるしやなく押しよせる。素手すてで立ちむかうヒミコ。しかし、そこには悲愴感ひ そうかんはない。涙と笑いをさそいながら人間の尊厳そんげんとは何かを鋭く問といかける。

新屋英子プロフィール

大阪天満てんまに生まれ、1952年せいさくご、制作座入団。1957年、劇団関西芸術座創立メンバー。終戦特集テレビ朝日「徹子てつこの部屋」に出演。大阪シナリオ学校・大阪文学学校講師。

〈主な映画出演〉

「旅の重さ」斎藤耕一監督、「アース」金秀吉監督、「学校」山田洋次監督

「手をつなぐ子ら」羽仁進監督、「愛の亡霊ぼうれい」大島渚監督 他

のために東京(日比谷公園)へ行ってたりして、遅くなってしまったのです。ごめんなさい。

来週も、校内部落問題意見発表会や板野町同和教育研究会があり、忙しい日々になりそうですが、お互い健康に気をつけ、がんばりましょう！！



6月11日(火) 校内部落問題意見発表会、『MY SKY 第9号』発行日

13日(木) 3年第2回全体学習3年C組(板野町同和教育研究会):資料「仲間と共に」

18日(火) 『MY SKY 第10号』発行日

20日(木) 2年第2回全体学習2年組:資料「」



岬中学校との交流会